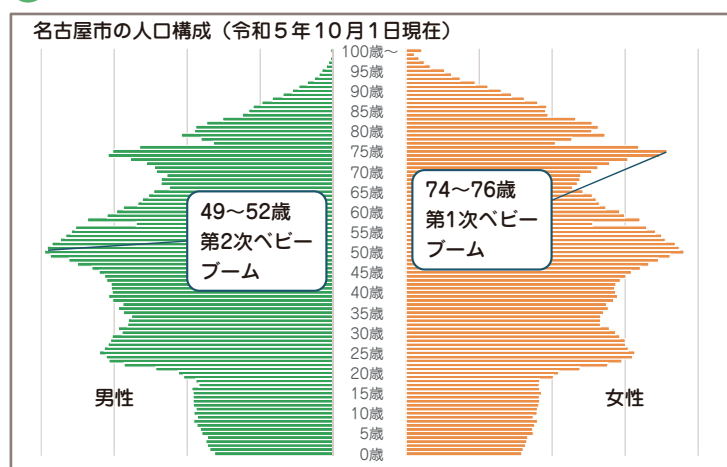


名古屋市における高齢者の健康課題



“人生100年時代”と言われる中で、名古屋市の現状は…？

▶ 名古屋市の人口構成から見たこと？！



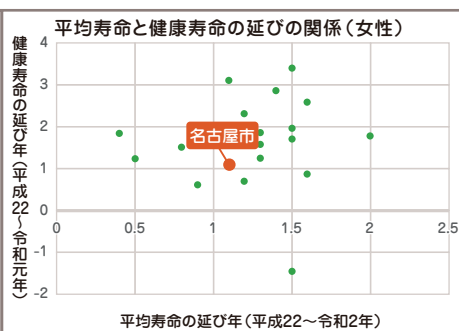
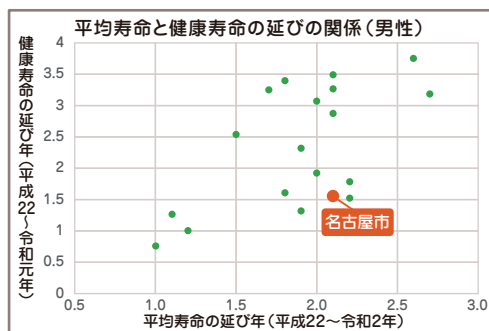
出典：名古屋市年齢別公算人口

高齢者世代である
65歳以上の老年人口の増加



15歳から64歳の生産年齢人口の
減少のため支える世代への負担増

▶ 平均寿命と健康寿命から見たこと



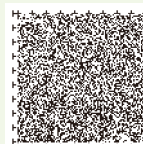
出典：厚生労働省人口動態・保健社会統計室・生命表/厚生労働科学研究健康寿命のページ・大都市の健康寿命（2010～2019年）
※緑色の点で示している都市は熊本市を除く政令指定都市等

政令指定都市等
の中で平均寿命
の延びは、男性
は中位、女性は
下位に位置して
います。
健康寿命の延び
は男女ともに下
位に位置してい
ます。

『健康寿命とは』

健康寿命とは、一般的に、ある健康状態で生活することが期待される平均期間またはその指標の総称を指します。生存期間を健康な期間と不健康な期間に分け、集団における各人の健康な期間の平均を求めると、これが健康寿命の指標となります。健康寿命には様々な定義や算出方法がありますが、本書では国民生活基礎調査のデータを基に国が3年ごとに算定する「日常生活に制限のない期間の平均」を使用しています。

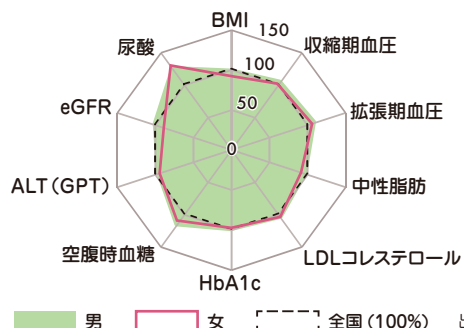
名古屋市高齢者の健康課題が明らかになりました！次ページをご覧ください



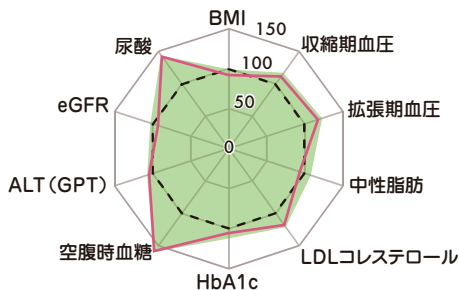
名古屋市高齢者の健康状態と健康課題

健康診査のデータから見たこと?!

名古屋市国民健康保険特定健康診査
標準化有所見率(40~74歳)(令和4年度)



名古屋市後期高齢者医療健康診査
標準化有所見率(令和4年度)



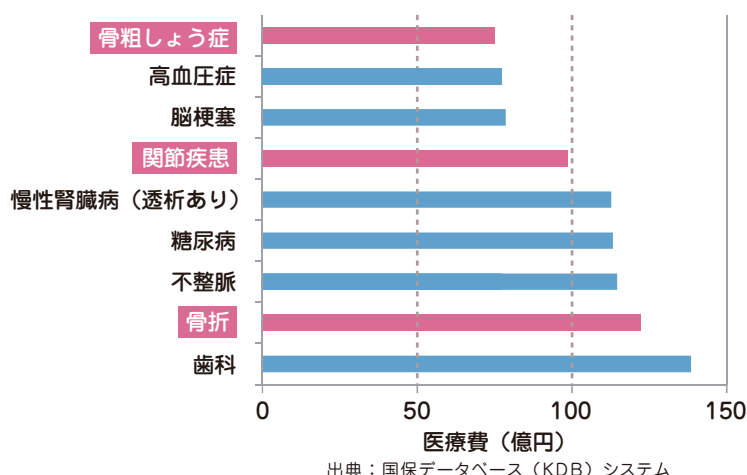
健康診査の結果では、男女とも空腹時血糖、尿酸の有所見率が全国より高くなっています。

後期高齢者ではHbA1c、血圧、LDLコレステロールについても全国より高値であり、さらに近年上昇傾向にあります。

放置すると、病気の発見の遅れや悪化による入院・長期治療が必要となり、医療費がかかります。

医療費データから見たこと?!

名古屋市後期高齢者疾病別医療費
【男女計・上位9疾病】(令和4年度)



後期高齢者の疾患別医療費は、歯科、骨折、不整脈、糖尿病、慢性腎臓病(透析あり)、関節疾患、脳梗塞、高血圧症、骨粗しょう症が上位に挙がっています。

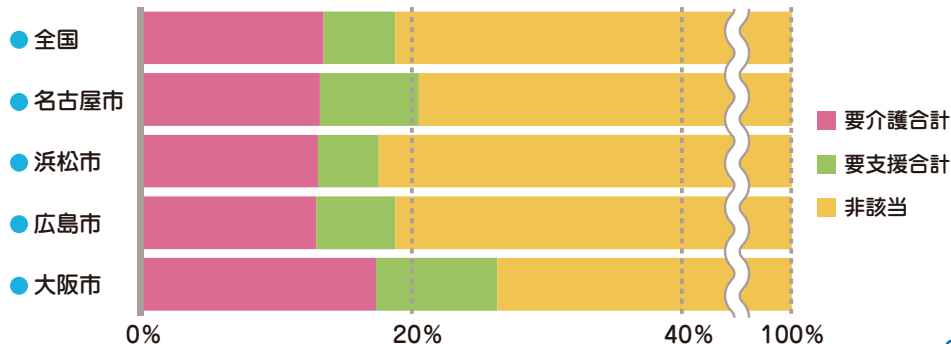
骨折の医療費は、慢性腎臓病(透析あり)や糖尿病と同様に高額となっています。

慢性腎臓病(透析あり)、糖尿病の医療費が高額で、全国と比べても高く、過去5年間の高齢者の糖尿病の医療費は増加傾向です。

病気の重症化や長期入院等により心身機能が低下し、介護が必要となります。

要介護認定から見たこと?!

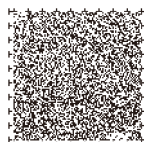
全国と他の政令指定都市の要支援・要介護認定割合
(令和3年度)



高齢者の要支援・要介護認定率の合計は20.1%で、全国平均の18.9%より高くなっています。

高齢化率が高い政令指定都市は、要介護認定率も高い傾向となっています。

日常生活が制限され、自立した生活を送ることが難しくなります。



日本の高齢化は世界に先駆けて進行し、少子化に改善の兆しは現れません。
名古屋市も生産年齢人口が老年人口に置き換わりながら **高齢化が進行** しています。
そのため、**健康寿命の延伸**、**高齢者の健康増進** と医療費適正化は避けては
通れない喫緊の課題です。



健康寿命の延伸にむけて、住み慣れた地域で自立した生活を送るために
高齢者の健康課題の改善にむけて必要なこと

健診・検診の受診

生活習慣の改善と早期の受診・治療

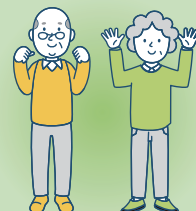
糖尿病等の重症化予防

早期からの有効なフレイル予防

認知症や転倒予防、オーラルフレイルへの対策

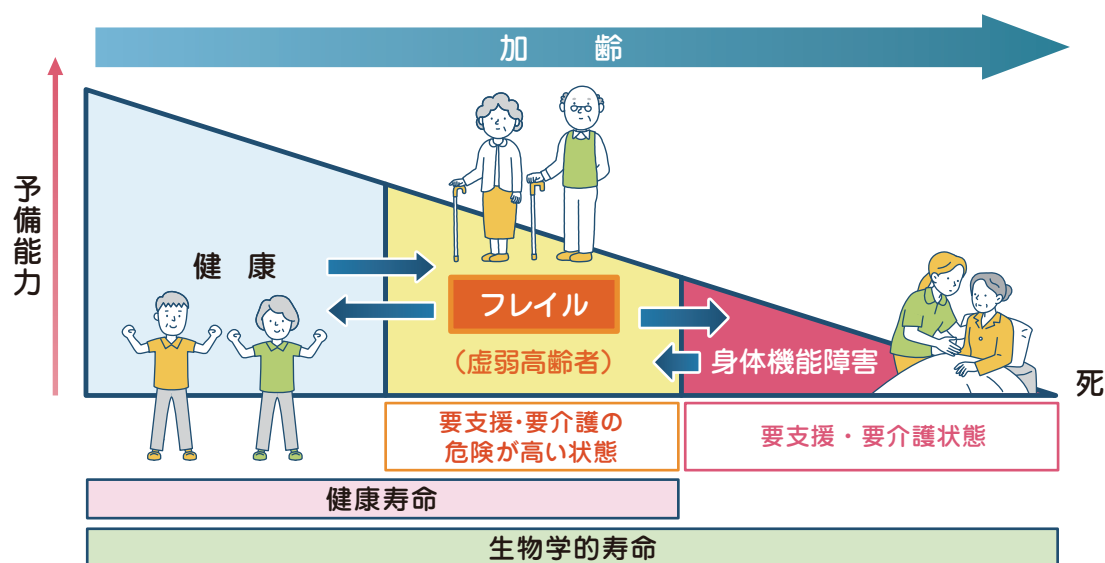
社会とのつながりを失うと、生活が不活発になり、食欲低下、栄養の偏り、筋肉
量減少・筋力低下などの多様な症状がみられ、フレイルの最初の入り口となる
おそれがあります。

「通いの場」等への参加を通じて社会とつながっていきましょう。



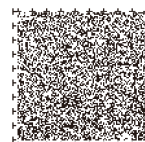
『フレイルとは』

加齢により心身の活力が低下した状態であり、介護を必要とする前の黄信号の段階を指します。
フレイルは、身体機能の衰えだけでなく、精神・心理的な衰え、社会活動の減少等が相互に連鎖し、
生活機能の低下を加速させます。予防が肝心であり、なるべく早期から適切な介入を行い、進行を
遅らせることが重要です。



葛谷雅文 (2009) 老年医学におけるSarcopenia & Frailtyの重要性、日本老年医学会雑誌、46、p279-285
佐竹昭介 (2015) フレイルの一次スクリーニング、p32-39、フレイルの予防とリハビリテーション、医歯薬出版株式会社
を参考に一部改変

出典元：国立長寿医療研究センターHP「フレイルの概念図」より引用
<https://www.ncgg.go.jp/ri/advice/27.html>



- ◆ 健康診査を受診すると、病気を早期発見し重症化予防につながります。
- ◆ 通いの場等の社会活動に参加すると、外出の機会が増え、フレイル予防になります。
- ◆ フレイルの予防をすることで、さらに転倒・骨折を防ぐことにつながります。

健診は一日、
健康は一生。

ご自分のからだを知る機会 健康診査を受けましょう！

名古屋市で実施している健診（検診）の実施内容や実施場所等について
知りたい場合は、

「**名古屋市健診（検診）総合サイト**」をご確認ください。

名古屋市健診（検診）総合サイト

検索



- 名古屋市公式ウェブサイト www.city.nagoya.jp

名古屋市

検索

- 詳しい内容を知りたい場合は、名古屋市公式ウェブサイトから「健康診査、介護・医療データからみた名古屋市における高齢者の健康課題」の本冊子をご確認ください。

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000181205.html>



担当課

名古屋市健康福祉局生活福祉部医療福祉課

電話番号：052-972-2573 FAX：052-972-4148

